

# 安全上のご注意

ご注意の詳細については、  
P.6 ~ をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」と本書の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本書をお読みになった後は、本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。本書にはあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使い方をご指導ください。

## 表示の意味

 <b>危険</b>	“ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷 <small>じゅうしょう</small> を負う危険が、差しこまれて発生する可能性があること ” を示します。
 <b>警告</b>	“ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷 <small>じゅうしょう</small> を負う可能性があること ” を示します。
 <b>注意</b>	“ 誤った取り扱いをすると、人が傷害 <small>しょうがい</small> * <sup>1</sup> を負う可能性、または物的損害* <sup>2</sup> のみが発生する可能性があること ” を示します。
* <sup>1</sup> : 傷害 <small>しょうがい</small> とは、治療 <small>ちりょう</small> 入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。 * <sup>2</sup> : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。	

## 図記号の意味

	この図記号は危険（警告、注意含む）を促す事項を示しています。具体的な警告内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

めんせきじこう

## 免責事項について

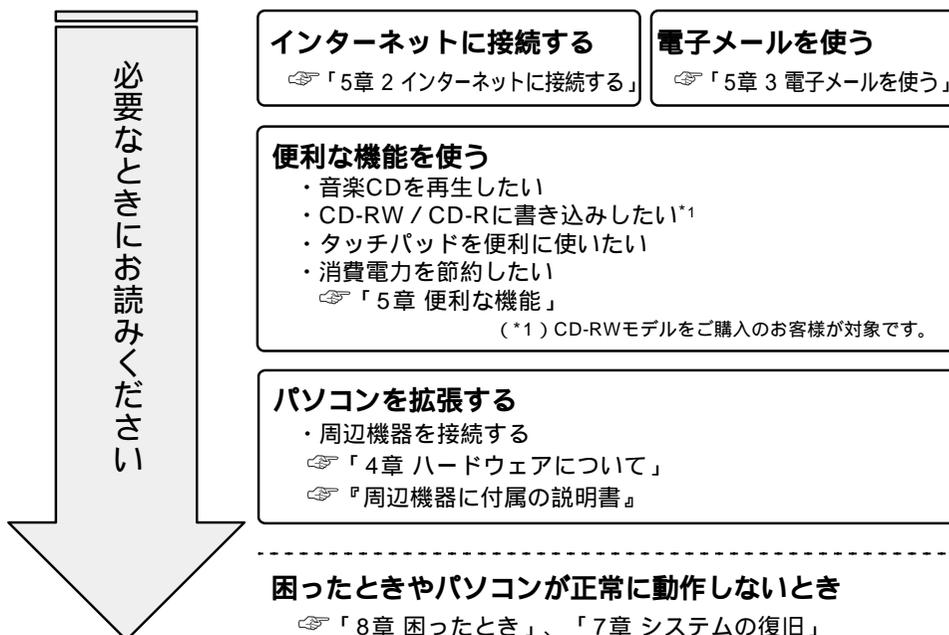
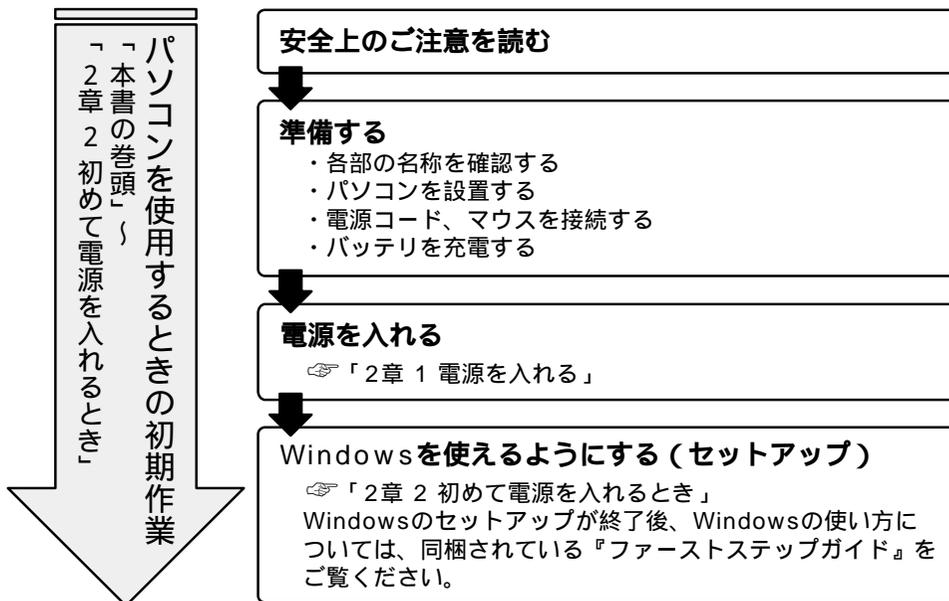
- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害ふずいてき（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。



# マニュアルの使い方

☞ 目次は次ページ

本書の主な内容を説明します。





# 目次

マニュアルの使い方 .....	1
目次 .....	2
安全上のご注意 .....	6
ご使用上のお願い .....	13
はじめに .....	17
本書の読み方 .....	22
日常の取り扱い .....	24
<b>1 章 電源を入れる前に .....</b>	<b>29</b>
<b>1 各部の名称 .....</b>	<b>30</b>
<b>2 パソコンの準備 .....</b>	<b>34</b>
1 パソコンを快適に使うには .....	34
2 電源に接続する .....	36
3 ディスプレイを開ける .....	37
4 電源に関する表示 .....	38
<b>3 バッテリーの充電 .....</b>	<b>39</b>
1 コードレスで使うために .....	39
2 バッテリーの充電 .....	39
3 バッテリーに関する表示 .....	40
<b>4 タッチパッドと左 / 右ボタンの使い方 .....</b>	<b>41</b>
<b>5 マウスの接続 .....</b>	<b>42</b>
<b>6 マウスの使い方 .....</b>	<b>43</b>
<b>7 キーボード .....</b>	<b>44</b>

<b>2章</b>	電源を入れて切るまで .....	51
1	電源を入れる .....	52
2	初めて電源を入れるとき .....	54
3	電源を切る .....	62
<b>3章</b>	パソコンを持ち歩く .....	65
1	バッテリーを使う .....	66
1	1 バッテリー充電量を確認する .....	66
2	2 バッテリーの使用時間 .....	67
3	3 内蔵バッテリー .....	68
4	4 バッテリーパックを交換する .....	68
2	2 バッテリーを節約する .....	70
<b>4章</b>	ハードウェアについて .....	71
1	1 周辺機器の取り付けについて .....	72
2	2 フロッピーディスク装置 .....	73
1	1 フロッピーディスク .....	73
2	2 フロッピーディスクのセットと取り出し .....	74
3	3 CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 .....	75
1	1 CD .....	75
2	2 CDのセットと取り出し .....	76
4	4 PC カード .....	80
5	5 増設メモリ .....	85
6	6 電話回線への接続 .....	89
1	1 モジュラーケーブルの取り付け / 取りはずし .....	89
2	2 モデムの設定 .....	90
7	7 USB 機器の接続 .....	91

<b>5章</b>	<b>便利な機能</b> .....	<b>93</b>
<b>1</b>	音楽CDを聴く .....	94
	1 CDプレーヤ .....	94
	2 イージーボタン .....	95
<b>2</b>	インターネットに接続する .....	97
	1 「簡単インターネット」からのオンラインサインアップ .....	97
	2 ブラウザを起動する .....	99
<b>3</b>	電子メールを使う .....	100
	1 メールを使う準備をする .....	100
	2 メールソフトを起動する .....	103
	3 新着メールを確認する .....	104
<b>4</b>	イージーボタンを設定する .....	106
<b>5</b>	CD-RW / CD-Rを使う .....	109
	1 CD-RW / CD-Rに書き込む前に .....	109
	2 DirectCD .....	110
	3 Easy CD Creator .....	110
<b>6</b>	タッチパッドを便利に使う .....	111
<b>7</b>	消費電力を節約する .....	116
	1 スタンバイ機能を使う .....	116
	2 電源を管理する .....	117
<b>6章</b>	<b>BIOS セットアップ</b> .....	<b>121</b>
<b>1</b>	BIOS セットアップとは .....	122
	1 BIOS セットアップの起動方法 .....	122
	2 BIOS セットアップの操作方法 .....	123
	3 BIOS セットアップの内容 .....	125
<b>2</b>	Main (メイン) メニューの詳細 .....	126
<b>3</b>	System Devices (システムデバイス) メニューの詳細 .....	128
<b>4</b>	Security (セキュリティ) メニューの詳細 .....	131

5	Boot (ブート)メニューの詳細 .....	133
6	Exit (エクジット)メニューの詳細 .....	134
<b>7章</b>	<b>システムの復旧 .....</b>	<b>135</b>
1	初期インストールソフトウェアを復元する .....	136
1	準備 .....	136
2	操作手順 .....	136
<b>8章</b>	<b>困ったときは .....</b>	<b>139</b>
1	困ったときは .....	140
	仕様 .....	154
	ユーザサポート窓口のご案内 .....	156
	さくいん .....	163

1  
章

2  
章

3  
章

4  
章

5  
章

6  
章

7  
章

8  
章

# 安全上のご注意

## ⚠ 危険

### ● バッテリーパックについて

バッテリーパックを火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないこと

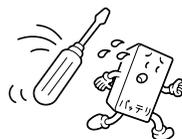
破裂、発火させる原因となります。



禁止

バッテリーパックを分解・改造しないこと

破裂、発火させる原因となります。



禁止

バッテリーパックの電極の(+)と(-)を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。



禁止

バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと

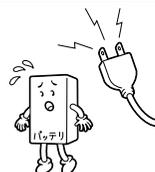
電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。



禁止

バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと

破裂、発火させる原因となります。



禁止

## ⚠ 警告

### ● 本体の取り扱いについて

もし、異常な臭いがしたり、異常音がしたり、過熱、発煙したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店または東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。



電源プラグを  
コンセントから抜く

**警告** -つづき-

近くにコップ、花瓶など、液体の入った容器を置かないこと

液体がこぼれて内部に入ると、感電のおそれがあります。もし、液体が内部に入ったときは、電源を切り、プラグを抜いて、お買い求めの販売店または東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。



禁止

分解・改造・修理しないこと

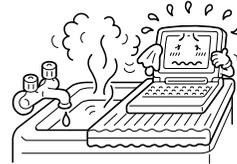
火災、感電、故障、ケガのおそれがあります。修理は、お買い求めの販売店または東芝 PC 集中修理センタに依頼してください。本製品を分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。



分解禁止

ふる場など、水がかかったり、湿気の多いところに置かないこと

感電のおそれがあります。



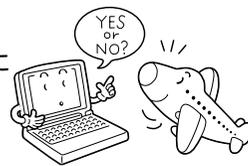
禁止

もし、<sup>しょうげき</sup>落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店または東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。



電源プラグを  
コンセントから抜け

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと。指示に従わず使用すると、<sup>えいきよう</sup>運航装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。



強制

キーボードを長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息すること

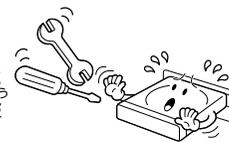
キーボードを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。



強制

CD-ROM 装置 / CD-RW 装置部分はサービスマン以外の方は絶対に分解しないこと

内部にはレーザー光線が使用されており、万一、分解または不適切な使用、修理などがあると、人体への悪影響（目の傷みなど）をおよぼすおそれがあります。



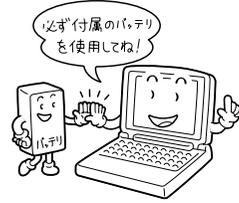
強制

**警告 - つづき -**

● **バッテリーについて**

バッテリーは必ず本体付属の製品を使用すること。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品を使用すること

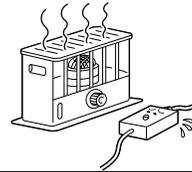
指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。



強制

● **電源コード、ACアダプタの取り扱いについて**

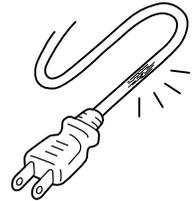
通電中のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと  
火災、故障のおそれがあります。



禁止

電源コードを取り扱うときは次の点を守ること

- ・傷つけない ・加工しない
- ・コードをつぎ足さない ・無理に曲げない
- ・ねじらない ・引っ張らない ・物を乗せない
- ・机、家具などを乗せてつぶさない
- ・ドアなどにはさまない ・加熱しない
- ・熱器具に近づけない ・束ねない
- ・クギやステーブルで固定しない



禁止

守らないと、火災、感電、やけどのおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、お買い求めの販売店または東芝PC集中修理センタに依頼してください。

電源コードは本体付属品を使用すること

それ以外の電源コードを使用すると、火災のおそれがあります。



強制

電源プラグやACアダプタの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃すること  
そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。  
長時間使用しないときはコンセントから抜き、ホコリが付着しないように保管してください。



強制

電源プラグやACアダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと

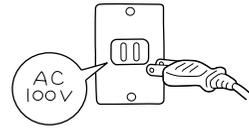
確実に差し込んでいないと、火災、感電のおそれがあります。



強制

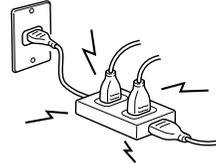
## ⚠ 警告 - つづき -

電源プラグはAC100Vコンセントに差し込むこと  
それ以外のコンセントに差し込むと、火災のおそれがあります。



強制

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしないこと  
タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電のおそれがあります。



禁止

必ず、本製品付属のACアダプタを使用すること  
本製品付属以外のACアダプタを使用すると、電圧や  
(+)(-)の極性が異なっていることがあるため、火災、  
破裂、発煙のおそれがあります。

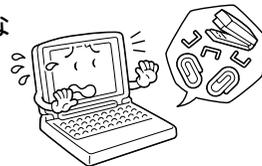


強制

## ⚠ 注意

### ● 本体の取り扱いについて

ステーブル、クリップなどの金属類を内部に入れな  
いこと  
ショートし、発煙、発火のおそれがあります。



禁止

画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶  
を吸い込んだり、飲んだりしないこと。また、液晶  
にふれないこと

中毒を起こしたり、皮膚がかぶれるおそれがあります。万  
一口に入ってしまった場合は、水でゆすいでください。皮  
膚や衣服についてしまった場合は、アルコールなどでふき  
取り、水洗いしてください。



接触禁止

雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用し  
ないこと

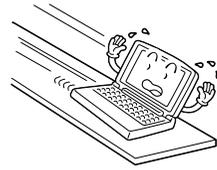
雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意 -つづき-

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと  
落ちたり、たおれたりしてケガするおそれがあります。



禁止

ひざの上で長時間使用しないこと  
長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどのおそれがあります。  
肌の弱い方は、特にご注意ください。



禁止

アプリケーションソフトの動作中に電源を切らないこと  
データ消失のおそれがあります。



禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないこと  
コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。



禁止

ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないこと  
感電のおそれがあります。



禁止

通電中の AC アダプタに長時間ふれないこと  
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどのおそれがあります。  
肌の弱い方は、特にご注意ください。



禁止

充電機能が著しく低下した場合や、バッテリーのなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けないこと  
そのまま使い続けると、本体内の記憶内容がこわされるおそれがあります。手順に従いバッテリーの交換をしてください。



禁止

バッテリーパックを捨てるときは、ショート防止のために、電極をおおうように絶縁テープぜつえんをはり、地方自治体の条例や規則に従うこと  
そのままの状態では捨てると、破裂、発火のおそれがあります。



注意

**⚠ 注意 -つづき-**

バッテリーパックを本体に取り付けるときは、しっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認すること  
正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。



注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意すること  
聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



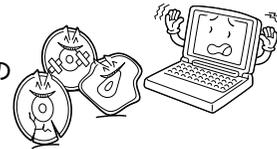
注意

本体に接続して使用中や使用直後の PC カードに長時間ふれないこと  
長時間ふれたままになっていると、低温やけどのおそれがあります。  
肌の弱い方は、特にご注意ください。



禁止

ひび割れ、変型、または接着剤などで補修した CD は使用しないこと  
CD は本体内で高速に回転しますので、飛び散ってケガの原因となることがあります。



禁止

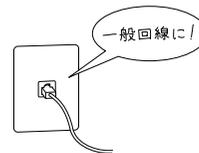
**● モデムの取り扱いについて**

モデムは日本国内で使用すること  
海外でモデムを使用すると、故障のおそれがあります。



強制

モデムは一般電話回線（アナログ回線）以外に接続しないこと  
モデムのモジュラーケーブルをデジタル回線およびデジタル対応公衆電話のデジタル側や、デジタル式構内交換機（PBX）へ接続すると、故障のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意 -つづき-

● 周辺機器・オプションの取り付けについて

東芝純正品じゆんせいひん以外の周辺機器を使用する場合は、本製品で  
使用可能かどうかを、取り扱い元に確認すること  
東芝純正品じゆんせいひん以外の周辺機器が原因で発生した損害（お客様  
へのケガ、財産への損害および本体の故障）については、  
当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。

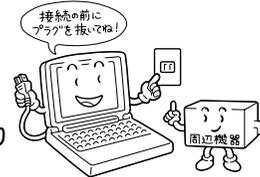


周辺機器を接続したり、取りはずしたりする場合は、  
取扱説明書に記述されてあるところ以外は絶対に開  
けないこと  
火災、感電、やけどのおそれがあります。



ホットインサージョン（本体の電源が入った状態  
での接続）が認められていない周辺機器を接続する場  
合には、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜  
いてから作業をすること

電源を入れたまま接続すると、感電、故障のおそれがあり  
ます。

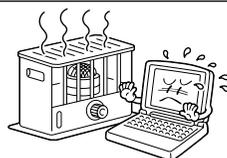




# ご使用上のお願い

## ● 本体の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、<sup>たんぽう</sup>暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

極端に低温になるところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



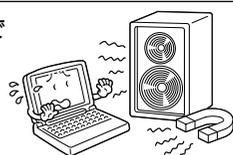
禁止

急激な温度変化を与えないでください。  
<sup>けつる</sup>結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

磁石、スピーカーなど磁気を発するものの近くに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



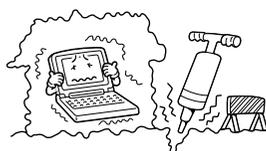
禁止

ほこりの多いところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買い求めの販売店または東芝 PC 集中修理センターに点検を依頼してください。



禁止

<sup>しんどう</sup>振動が強いところに置かないでください。  
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

通風口をふさがないでください。  
内部の温度が上がり、故障、誤動作の原因となります。



禁止

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。  
変質、変形、変色の原因となります。



禁止

ぬれた布で画面を拭かないでください。  
故障の原因となります。



禁止

製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。  
破損、故障の原因となります。



禁止

本製品を長時間使用する場合は、健康のために、定期的に休みを取り、目や筋肉をリフレッシュさせてください。



強制

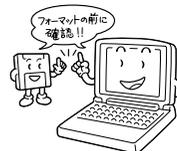
## ● フロッピーディスク、ハードディスク内のデータ保護について

フロッピーディスク装置、ハードディスク装置のマークが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置の取り出しボタンにふれたりしないでください。  
データが消失するおそれがあります。



禁止

一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は保存されている内容を確認してください。  
フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えます。



強制

ハードディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、変化/消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクに保存しておいてください。

ハードディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。



強制

重要な内容は必ず、フロッピーディスクに定期的に保存しておいてください。

本製品は次のような場合、スタンバイ機能または休止状態（ハイパネーション）が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 長時間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- ・ 故障、修理、バッテリー交換のとき
- ・ 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
- ・ コードレスで使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- ・ 増設メモリカードの取り付け/取りはずしをしたとき

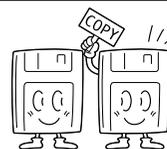


強制

記憶内容の変化/消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

## ● フロッピーディスクの使用環境、保管場所および取り扱いについて

フロッピーディスクは消耗品しょうもうひんですので、大切なデータは別にコピーしておくことをおすすめします。



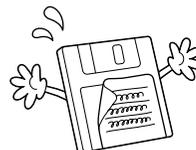
強制

シャッター部は開けないでください。  
磁性面（ディスク面）が傷ついたり、汚れると、使用できなくなります。



禁止

ラベルは正しい位置からはみ出したり、重ね貼りしないでください。  
フロッピーディスク装置の故障の原因となります。



禁止

ラベルに名前（タイトル）を記入するときは、鉛筆を使用しないでください。

芯のカスが入ると故障の原因となります。油性のフェルトペンで  
ご記入ください。

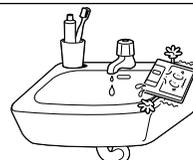
また、ラベルに名前（タイトル）を記入してから、貼ることをおすすめします。



禁止

水がかかったり、湿気の多いところに置かないでください。

ぬれると使用できなくなったり、フロッピーディスク装置の故障の原因となります。



禁止

近くにコップなど、液体の入った容器を置かないでください。

液体がこぼれてぬれると、使用できなくなったり、フロッピーディスク装置の故障の原因となります。



禁止

## ● CDの使用環境、保管場所および取り扱いについて

CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。

CD-ROM装置 / CD-RW装置が故障したり、CDを読み込むことができなくなります。



禁止

CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重い物を置かないでください。

CDが変形し、CD-ROM装置 / CD-RW装置の故障の原因となります。

また、CDのデータ消失の原因となります。



禁止

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。  
表面に指紋を付けてしまうと、正確にデータが読みとれなくなることがあります。



強制

CDのお手入れをするときは、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。  
変質、変形、データの消失の原因となります。



禁止

## 用途制限について

本製品は人の生命に直接関わる装置等（\*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

\*1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。  
（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）

本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（\*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（\*3）が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

\*2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。  
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）  
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

\*3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・ブルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

## 国内向けの仕様です

本製品の仕様は国内向けです。海外での保守サービスは行なっておりません。  
また、本体付属の電源コードは、国内向け AC100V の仕様なので海外では使用できません。



# はじめに

このたびは、<sup>ダイナブック</sup>DynaBook PX250/200 シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は高性能・コンパクトを特長とするパーソナルコンピュータです。

本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

## ● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定に関しては、「5章 便利な機能 7 消費電力を節約する」を参照してください。

## ● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

## ● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

## ● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

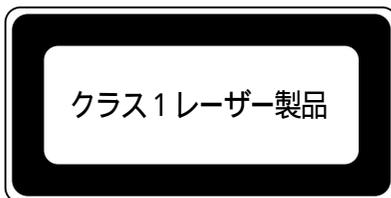
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ● レーザー製品の取り扱いについて

・本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、または東芝 PC 集中修理センタに依頼してください。

・本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。

・レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。



お願い

・本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

## ● モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第 50 条 1 項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



認定番号  
A00-0007JP

### 使用できない地域

内蔵モデムは、日本国内に使用が限定されます。海外での許認可は受けていないため、海外ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムに接続する回線が NTT 回線以外の場合や PBX 等を經由する場合は使用できない場合があります。また、デジタル対応公衆電話のデジタル側では使用できません。上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

### 自動再発信の制限

内蔵モデムは 2 回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を 2 回以下または再発信間隔を 1 分以上にしてください）。

\* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は 2 回以内（但し、最初の発信から 3 分以内）」に従っています。



お願い

・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラーjackから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。

## Ghost License

NOTICE: SYMANTEC LICENSES THE ENCLOSED SOFTWARE TO YOU ONLY UPON THE CONDITION THAT YOU ACCEPT ALL OF THE TERMS CONTAINED IN THIS LICENSE AGREEMENT. PLEASE READ THE TERMS CAREFULLY BEFORE OPENING THIS PACKAGE, AS OPENING THE PACKAGE WILL INDICATE YOUR ASSENT TO THEM. IF YOU DO NOT AGREE TO THESE TERMS, THEN SYMANTEC IS UNWILLING TO LICENSE THE SOFTWARE TO YOU, IN WHICH EVENT YOU SHOULD RETURN THE FULL PRODUCT WITH PROOF OF PURCHASE TO THE DEALER FROM WHOM IT WAS ACQUIRED WITHIN SIXTY DAYS OF PURCHASE, AND YOUR MONEY WILL BE REFUNDED.

### LICENSE AND WARRANTY:

The software which accompanies this license (the software is the property of Symantec or its licensors and is protected by copyright law. While Symantec continues to own the Software, you will have certain rights to use the Software after your acceptance of this license. Except as may be modified by a license addendum which accompanies this license, your rights and obligations with respect to the use of this Software are as follows:

You may:

- (i.) use Ghost to apply a hard drive image onto that number of hard drives equal to the number of Ghost licenses granted by Symantec under this license
- (ii.) reuse a Ghost license for a specific hard drive to reapply additional images onto the same hard drive as long as you are doing so in the capacity of the end user of the hard drive and not as a reseller of systems containing that hard drive and
- (iii.) include an image file created by Ghost for disaster recovery purposes with any such hard drive transferred by you to a third party.

You may not:

- (i) reuse a license for Ghost after successfully using that license to create an image file onto a hard drive;
- (ii) copy the documentation which accompanies the Software;
- (iii) sublicense, rent or lease any portion of the Software; or
- (iv) reverse engineer, decompile, disassemble, modify, translate, make any attempt to discover the source code of the Software, or create derivative works from the Software.

### Sixty Day Money Back Guarantee:

If you are the original licensee of this copy of the Software and are dissatisfied with it for any reason, you may return the complete product, together with your receipt, to Symantec or an authorized dealer, postage prepaid, for a full refund at any time during the sixty day period following the delivery to you of the Software.

Limited Warranty:

Symantec warrants that the media on which the Software is distributed will be free from defects for a period of sixty (60) days from the date of delivery of the Software to you. Your sole remedy in the event of a breach of this warranty will be that Symantec will, at its option, replace any defective media returned to Symantec within the warranty period or refund the money you paid for the Software. Symantec does not warrant that the Software will meet your requirements or that operation of the Software will be uninterrupted or that the Software will be error-free.

THE ABOVE WARRANTY IS EXCLUSIVE AND IN LIEU OF ALL OTHER WARRANTIES, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC LEGAL RIGHTS. YOU MAY HAVE OTHER RIGHTS, WHICH VARY FROM STATE TO STATE.

Disclaimer of Damages:

REGARDLESS OF WHETHER ANY REMEDY SET FORTH HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, IN NO EVENT WILL SYMANTEC BE LIABLE TO YOU FOR ANY SPECIAL, CONSEQUENTIAL, INDIRECT OR SIMILAR DAMAGES, INCLUDING ANY LOST PROFITS OR LOST DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE EVEN IF SYMANTEC HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

SOME STATES DO NOT ALLOW THE LIMITATION OR EXCLUSION OF LIABILITY FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES SO THE ABOVE LIMITATION OR EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.

IN NO CASE SHALL SYMANTEC LIABILITY EXCEED THE PURCHASE PRICE FOR THE SOFTWARE. The disclaimers and limitations set forth above will apply regardless of whether you accept the Software.

U.S. Government Restricted Rights:

RESTRICTED RIGHTS LEGEND. Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 or subparagraphs (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software-Restricted Rights clause at 48 CFR 52.227-19, as applicable, Symantec Corporation, 10201 Torre Avenue, Cupertino, CA 95014.

General:

This Agreement will be governed by the laws of the State of California. This Agreement may only be modified by a license addendum which accompanies this license or by a written document which has been signed by both you and Symantec. Should you have any questions concerning this Agreement, or if you desire to contact Symantec for any reason, please write: Symantec Customer Sales and Service, 10201 Torre Avenue, Cupertino, CA 95014.

## ● Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ AMD は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- ・ Symantec、Norton Ghost は、Symantec Corporation の商標です。
- ・ AT、EGA、PS/2、XGA は、IBM Corporation の商標または登録商標です。
- ・ RAGE LT PRO は ATI Technologies 社の商標です。
- ・ K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## ● お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、東芝 PC 集中修理センタにご依頼ください。

パスワードの解除を東芝 PC 集中修理センタにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万々不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアルまでご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# 本書の読み方

## 記号の意味

 警告 ・ 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。

 注意 ・ 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。

 この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

(注) 補足説明をしています。

## 画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

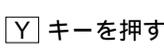
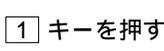
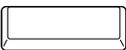
【例】

Total = x x x x KB

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## ● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを  で囲んで書いています。

-  キーを押す  を押してください。
-  キーを押す  を押してください。
-  キーを押す  (スペースキー)を押してください。

## ● 操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

 キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

 +  キーを押す

この場合は、 キーを押したまま  キーを押します。

## ● 用語について

本書では、次のように定義します。

システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト  
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 98 ..... Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION  
operating system 日本語版を示します。

MS-IME ..... Microsoft® IME2000 を示します。

CD-ROM モデル ..... CD-ROM 装置が内蔵されているモデルを示します。

CD-RW モデル ..... CD-RW 装置が内蔵されているモデルを示します。



# 日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

## ● パソコン本体



- 注意**
- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
  - ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。  
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
  - ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

ディスプレイは静かに閉じてください。

使用できる環境は次のとおりです。

温度 5 ~ 35 、湿度 20 ~ 80%

次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

## ● フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。

フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。

フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。

磁性面（ディスク面）が傷ついたり、汚れると使用できなくなります。

スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。

記録した内容が消えるおそれがあります。

直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。  
本やノートなど重いものを上に置かないでください。  
使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環 境	使用時	保管時
温 度	5 ~ 3 5	4 ~ 5 3

ラベルは正しい位置に貼ってください。  
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。  
ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。  
保管の際は、プラスチックケースに入れてください。  
食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。  
3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。  
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかつたり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

## ● フロッピーディスク装置

市販のクリーニング用品を使ってフロッピーディスク装置をクリーニングします。1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

## ● コンパクトディスク（CD）

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み書きできなくなる場合があります（CDへの書き込みは、PX250のCD-RWモデルをご購入の場合に可能です）。

CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。

CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。

CDのデータ面に文字などを書かないでください。

CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布で拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

## ● CD-ROM 装置 / CD-RW 装置

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。  
市販のクリーニング用品を使って CD-ROM 装置 / CD-RW 装置をクリーニングします。  
1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

## ● 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

## ● キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。  
汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼったきれいな布で拭きます。  
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または東芝 PC 集中修理センターにご相談ください。  
コーヒーなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

## ● 液晶ディスプレイ

### ● 画面の手入れ

画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。  
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。  
無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。  
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

### ● サイドライト用 FL 管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、東芝 PC 集中修理センターにご相談ください。有償にて交換いたします。

### ● 表示について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

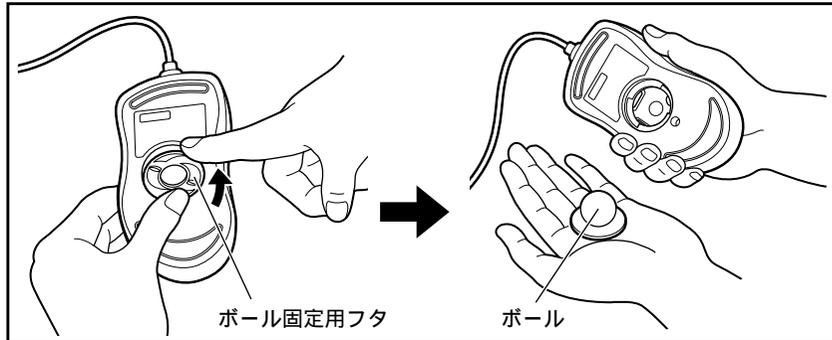
## ● マウス

マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

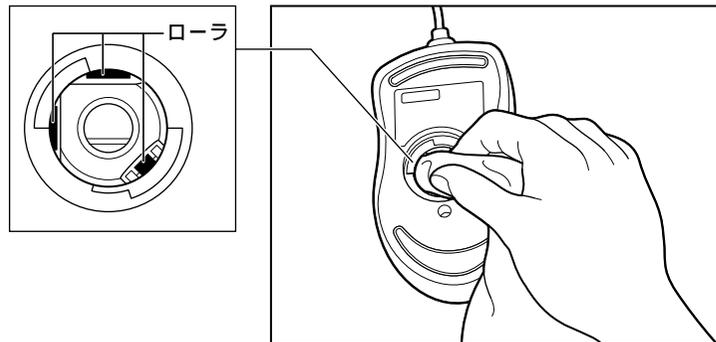
マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

パソコン本体の電源を切ってください。

マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



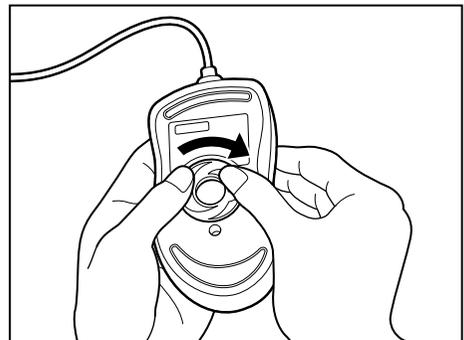
マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。

乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。

ボール固定用のフタを、矢印方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



お願い

・ボール固定用のフタ以外は、絶対に分解しないでください。

## ● サウンド

サウンドに関する設定は、Windows および音量ボタンで行います。  
音量の調整は、音量ボタンまたはタスクバーのスピーカアイコンで行います。  
スピーカアイコンをクリックまたは、ダブルクリックすると、ボリュームコントロールが表示されます。  
音量を大きくすると、スピーカ音が割れる場合があります。

## ● モデム

内蔵モデムは、ITU-T V.90 および K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。

## ● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。
- 電源を切った後も、CD/ハードディスクマーク表示中は動かさないでください。急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、フロッピーディスクや CD がセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
- 故障の原因になります。
- 持ち運ぶのときはディスプレイを閉じてください。

## ● 消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式ニッケル水素電池）  
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。  
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。

# 1

## 電源を入れる前に

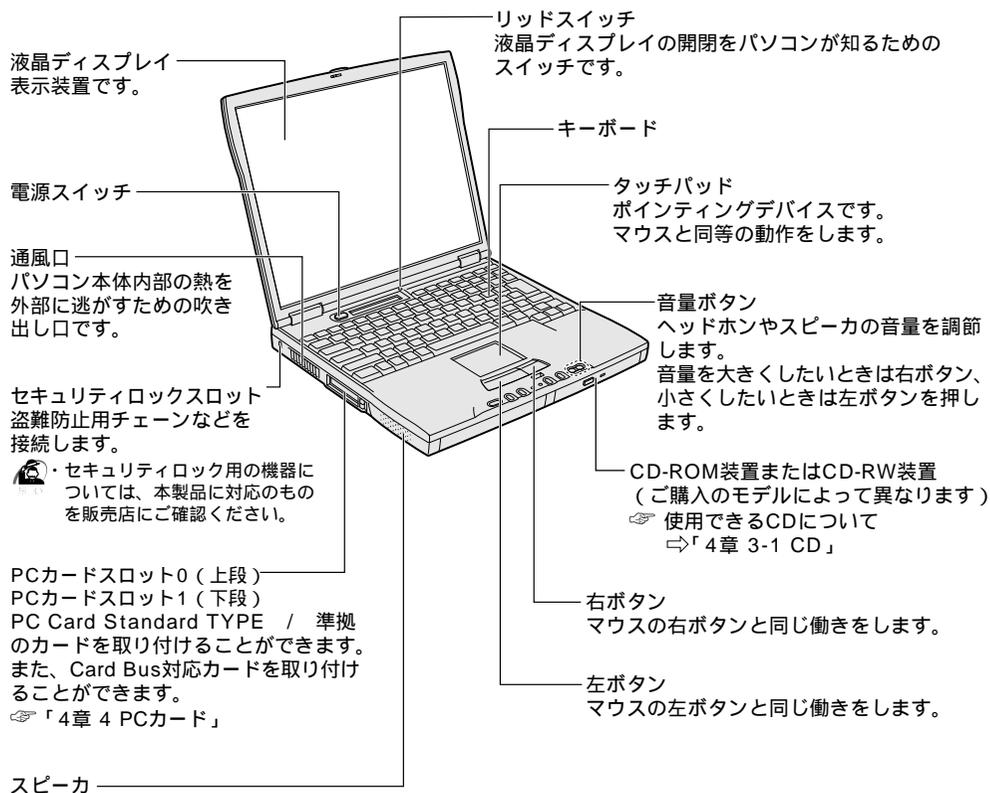
本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

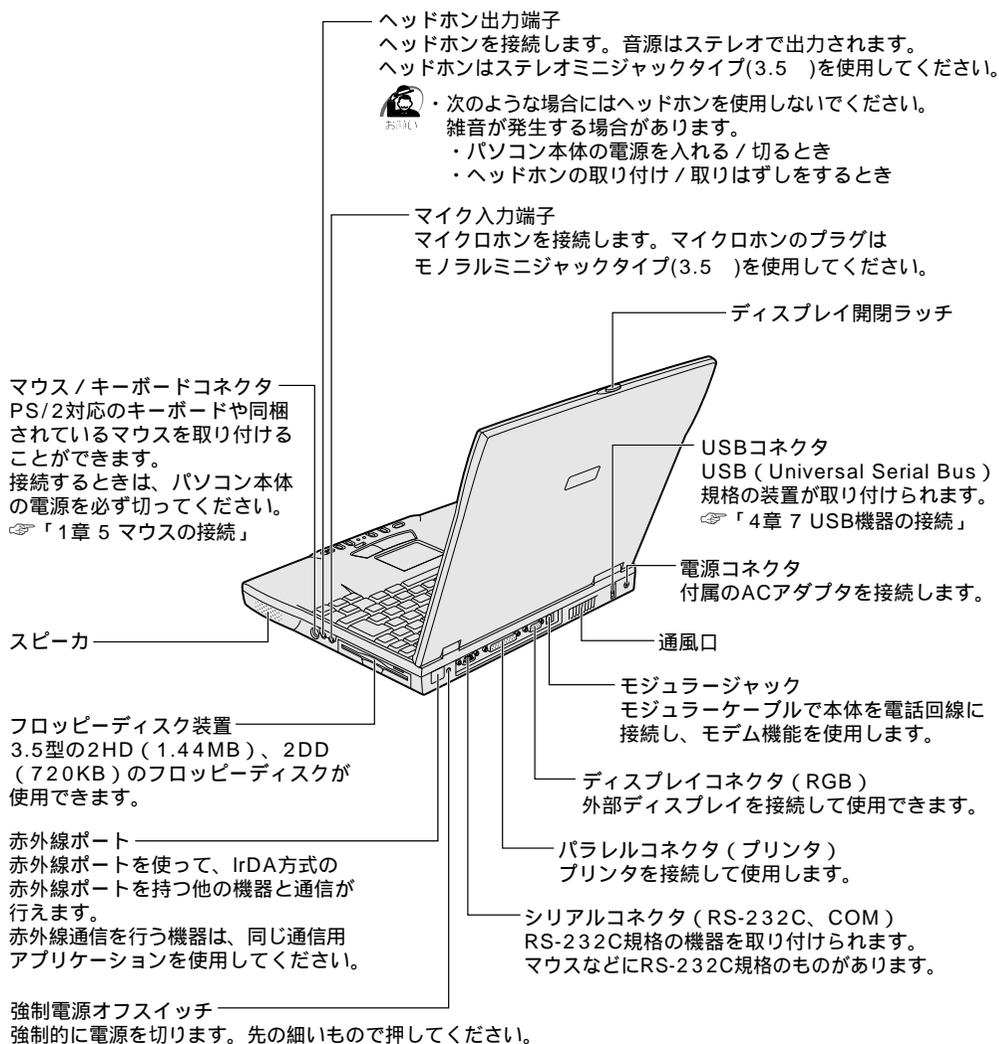
<b>1</b>	各部の名称 .....	30
<b>2</b>	パソコンの準備 .....	34
<b>3</b>	バッテリーの充電 .....	39
<b>4</b>	タッチパッドと 左 / 右ボタンの使い方 .....	41
<b>5</b>	マウスの接続 .....	42
<b>6</b>	マウスの使い方 .....	43
<b>7</b>	キーボード .....	44

# 1 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。

イラストはPX250のCD-ROMモデルです。





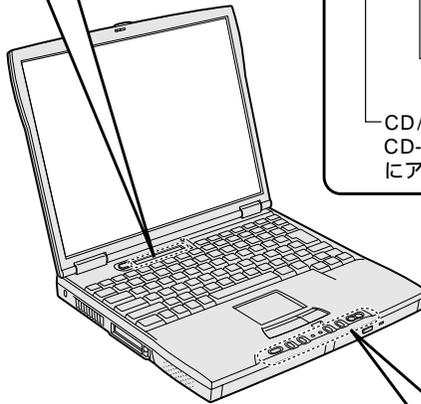
⚠ 注意・通常、電源を切るときには、ご使用にならないでください。  
ご使用になるとデータが消失するおそれがあります。  
このスイッチは、電源スイッチを5秒以上押し続けても電源が  
切れない場合のみご使用ください。

## 状態表示パネル



詳細 ⇨ 「本章 7 キーボード」

- A 大文字入力固定状態
- 1 数字入力固定状態
- 数字/カーソル入力固定状態
- 画面スクロール入力固定状態



- バッテリー残量表示マーク  
バッテリーの状態  
⇨ 「本章 3-3 バッテリーに関する表示」
- バッテリーマーク  
バッテリーパックの状態  
⇨ 「本章 3-3 バッテリーに関する表示」
- 電源入力マーク  
電源コードの接続状態  
⇨ 「本章 2-4 電源に関する表示」
- PCカードマーク  
PCカードにアクセスしています。
- フロッピーディスクマーク  
フロッピーディスク装置にアクセスしています。
- CD/ハードディスクマーク  
CD-ROM装置 / CD-RW装置またはハードディスク装置  
にアクセスしています。

## イージーボタン

### 機能切り替えスイッチ

スイッチの位置によって、ボタンの機能が変わります。

スイッチ左：アプリケーションモード

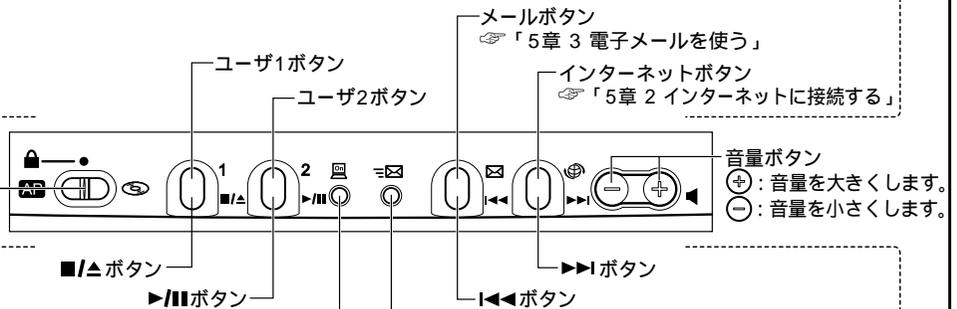
スイッチ右：音楽CDモード

スイッチ中央：ボタンは使用できません（ロック状態）。

### アプリケーションモード

（機能切り替えスイッチ：左）

ボタンの詳細 ⇨ 「5章 4 イージーボタンを設定する」

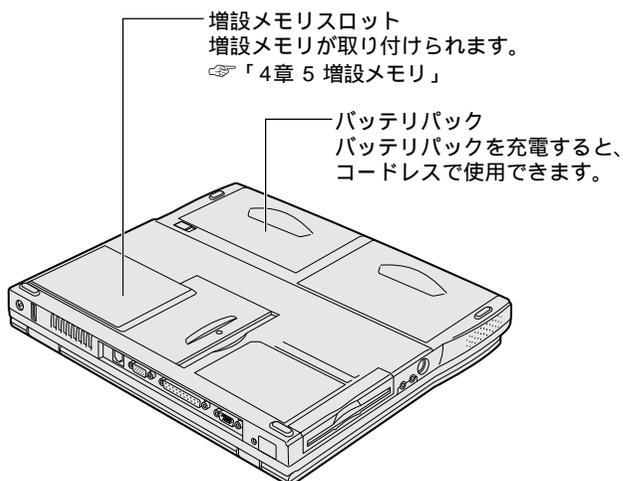


### 音楽CDモード

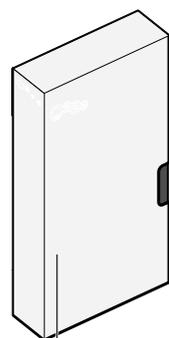
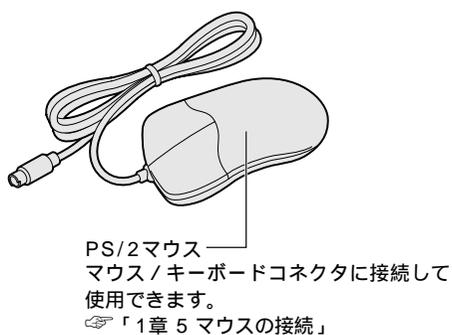
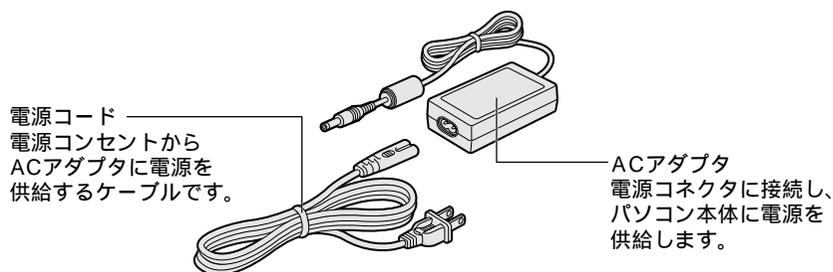
（機能切り替えスイッチ：右）

ボタンの詳細 ⇨ 「5章 1 音楽CDを聴く」

- メール着信ランプ  
⇨ 「5章 3 電子メールを使う」
- 電源表示ランプ  
電源の状態  
⇨ 「本章 2-4 電源に関する表示」



● 付属品



すいすいセットアップビデオ  
パソコンの使い方をビデオで  
説明しています。  
はじめにご覧ください。

## ② パソコンの準備

本製品を使用するとき、照明や机・椅子の高さ、画面の角度などの調節次第で快適に作業することができます。正しい使用環境でお使いいただければ、身体的疲労を軽減するとともに、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

ここでは、安全と健康を守り、本製品をより快適にお使いいただく環境について説明します。

### ① パソコンを快適に使うには

本製品を設置、使用する際には、次のことを守ってください。

#### ● 設置する環境



**警告** ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。  
ショート、発煙のおそれがあります。



**注意** ・ぐらついた台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないでください。  
パソコンが落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。



お願い

・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。  
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

温度は5～35、湿度は20～80%の環境にする

急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける

暖房器具などの熱いものの近くには置かない

腐食性の薬品のそばに置かない

#### ● 使用時の環境

適当な高さや距離をおき、平らな場所に置く

眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。

パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する

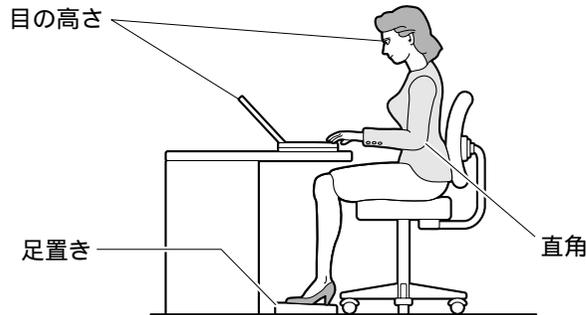
ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく

明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。

換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する

## ● 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する  
おしりよりも膝が少し高くなるように座る  
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する  
膝と肘はほぼ90度になるように、まっすぐ座る  
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。



## ● 照明

日光や照明が画面に反射しないように設置する  
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。  
明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコン本体を置かない  
なるべく、柔らかい間接照明などを使用する  
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

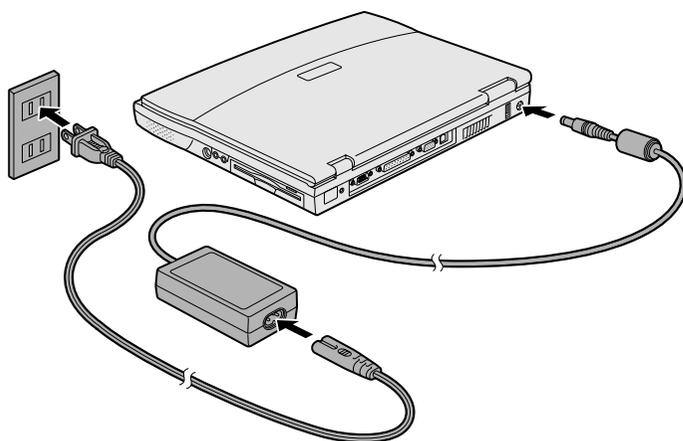
## ● 使用方法

リラックスした姿勢で座る  
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。  
適度に姿勢を変える  
時々立ち上がってストレッチする  
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。  
長時間画面を見続けないようにする  
15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。  
一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる  
30分に2～3分とるのが理想的です。

## 2 電源に接続する

### ● 接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。ACアダプタ、電源コードの接続は次の図の順に行います。はずすときは逆の順で行います。



### ● 取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



- 警告**
- ・付属の電源コードでは、AC100 V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
  - ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
  - ・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、発煙、火災のおそれがあります。
  - ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



- 注意**
- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
  - ・ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



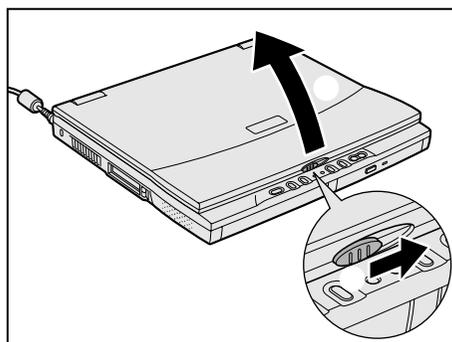
お願い

- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリーが温かくなることがありますが故障ではありません。

### 3 ディスプレイを開ける

- 1 ディスプレイ開閉ラッチを右にスライドさせ、ディスプレイを静かに起こす  
この時、両手を使ってゆっくり起こしてください。



**注意** ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。  
強く閉じると、衝撃でハードディスク装置やディスプレイなどが故障するおそれがあります。  
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

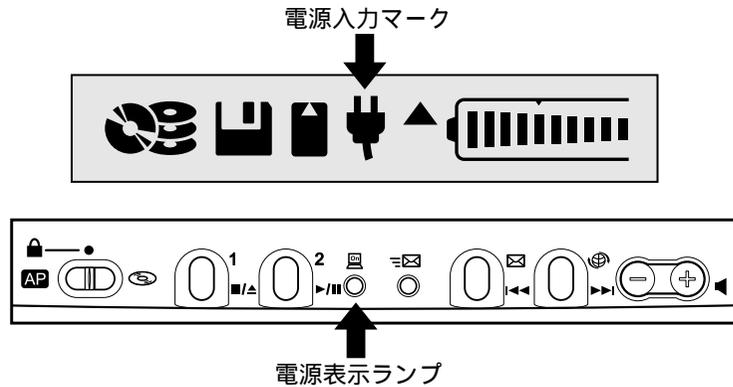
1

章

電源を入れる前に

## 4 電源に関する表示

次のマークとランプが、電源に関する表示です。



それぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
電源入力マーク 	表示中	ACアダプタを接続している
	消灯	ACアダプタを接続していない
電源表示ランプ 	点灯	電源ONまたは 音楽CDモード時（機能切り替えスイッチ：右）
	点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

# 3 バッテリーの充電

## 1 コードレスで使うために

パソコン本体には、バッテリーパックが取り付けられています。  
バッテリーを充電して、コードレス（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。  
コードレスで使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。  
充電を完了（フル充電）しなくてもコードレスで使えますが、使用できる時間は短くなります。

## 2 バッテリーの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

### ● 充電方法

- 1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ  
バッテリーマーク▲が点滅すると、充電が開始されます。  
パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず常時充電されます。
- 2 バッテリーマーク▲が点滅しなくなるまで通電する  
バッテリーを充電中はバッテリーマーク▲が点滅します。  
電源入力マーク⚡が消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。  
☞ バッテリーに関する表示について ☞ 「本節 3 バッテリーに関する表示」

### ● 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源ON時	約3時間
電源OFF時	約2時間

（注）周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。



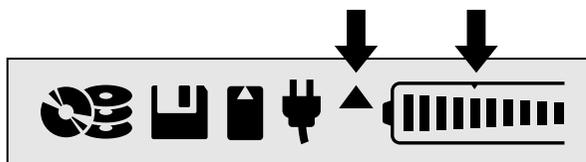
**警告** ・バッテリーパックの使用、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。



**注意** ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。  
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。  
・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。  
発熱したり、サビなどのおそれがあります。  
・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。  
お買い求めの販売店または、東芝 PC 集中修理センタに点検を依頼してください。

### 3 バッテリーに関する表示

次の図で矢印の付いているものが、バッテリーの状態を示すマークです。



マークは次の状態を示します。

状態		バッテリーの状態
バッテリーマーク ▲	点灯	バッテリーパックが取り付けられているとき（ACアダプタ接続時）
	点滅	バッテリーパックを充電中
バッテリー残量表示マーク 	バッテリー残量 約60%（表示例）	■（1つ）はバッテリー残量約10%分を示します。
	点滅	すぐに充電が必要

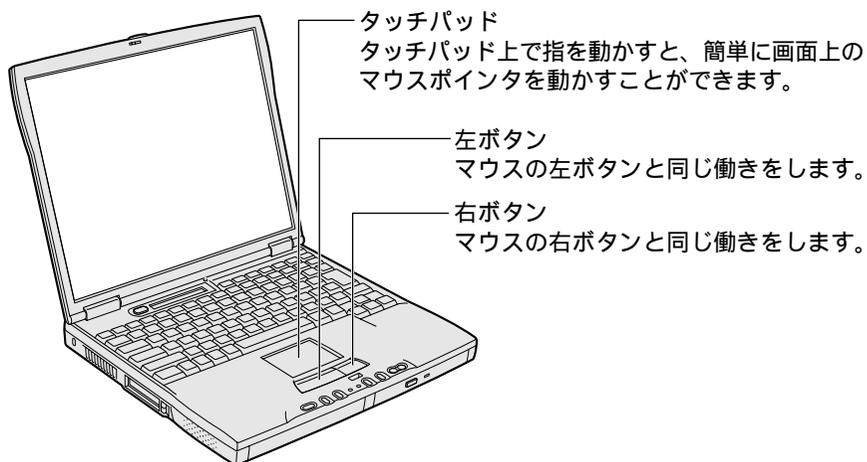


**注意** ・バッテリー残量表示マークが点滅したら、すぐに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。

☞ バッテリーの詳細について ☞ 「3 章 パソコンを持ち歩く」

# 4 タッチパッドと左/右ボタンの使い方

Windows 画面上に表示される(  )を「マウスポインタ」といいます。タッチパッドや左ボタン/右ボタンを使って、マウスポインタを操作します。タッチパッドと左ボタン/右ボタンはマウスと同じ働きをします。



1  
章

電源を入れる前に

## 基本操作

タッチパッド上に指を置き、指を上下左右に動かします。指の方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。



- ・タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

クリック	タッチパッドでマウスポインタを合わせて、左ボタンまたは右ボタンを1回押します。タッチパッドを指で軽く1回たたくと、左ボタンを1回押したときと同じ動作をします。
ダブルクリック	タッチパッドでマウスポインタを合わせて、左ボタンをすばやく2回続けて押します。タッチパッドを指で軽く2回たたいても同じ動作をします。
ドラッグアンドドロップ	左ボタンまたは右ボタンを押したまま、タッチパッドでマウスポインタを移動します(ドラッグ)。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します(ドロップ)。タッチパッドを指で軽く2回たたき、2回目をたたいたときに指をタッチパッドから離さず、そのまま目的の位置まで移動して離しても同じ動作をします。
スクロール	画面内を上下や左右に動かすことをスクロールといいます。スクロールを行うと、1画面に表示できず隠れてしまっている部分を見ることができます。指をタッチパッドの右端にあわせ上下に動かすと垂直方向に、下端にあわせ左右に動かすと水平方向にスクロールします。



- ・タッチパッドの操作は、ご購入時の設定で説明しています。タッチパッドの設定を変更するときや、便利な機能を使ってみたいときは「5章 6 タッチパッドを便利に使う」をご覧ください。

# 5 マウスの接続

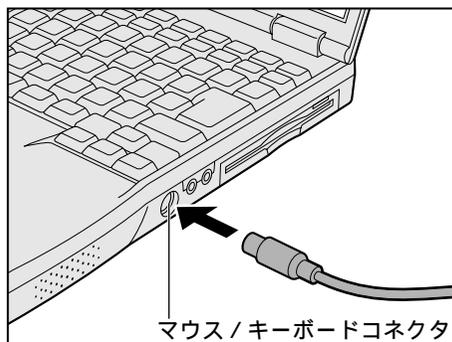
同梱されている PS/2 マウスはパソコン本体のマウス / キーボードコネクタに接続して使用します。

**注意** ・PS/2 マウスを接続する場合には、必ず電源を切ってから行なってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

## ● 取り付け

### 1 マウス / キーボードコネクタに、PS/2 マウスのプラグを差し込む

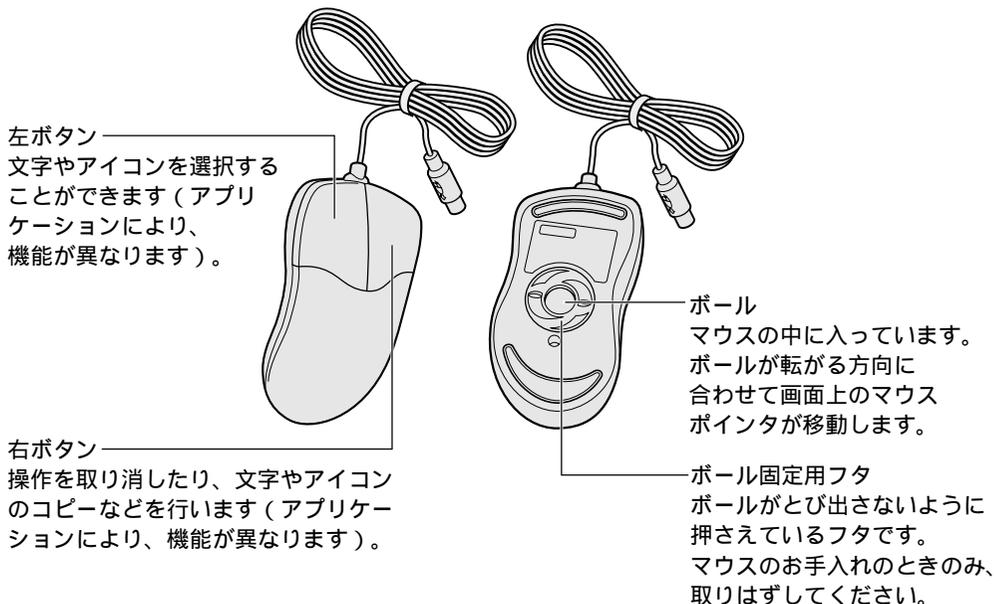
接続するときは、プラグに印刷されている矢印マークを上にしてしっかりと奥まで差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



# 6 マウスの使い方

PS/2 マウスは、タッチパッドや左ボタン / 右ボタンと同じ働きをします。

☞ PS/2 マウスの接続 ☞ 「本章 5 マウスの接続」



1  
章

電源を入れる前に

## ● 動かしかた

マウスを動かすと、内部のボールが転がる方向に合わせて、マウスポインタが画面上を移動します。画面上のマウスポインタを見ながらマウスを動かしてみてください。マウスを動かす場所がなくなったときは、マウスを1度持ち上げて、動かしやすい場所に戻してください。なお、マウスを空中で動かしてもマウスポインタは移動しません。



お願い

- ・マウスは平らな机の上などで使用してください。ボールが転がりにくい場所で使用すると、マウスポインタの動きが鈍くなる場合があります。
- ・マウスは手のひらで包むように持って、滑らせるように動かしてください。押さえつけて動かすと故障の原因になります。

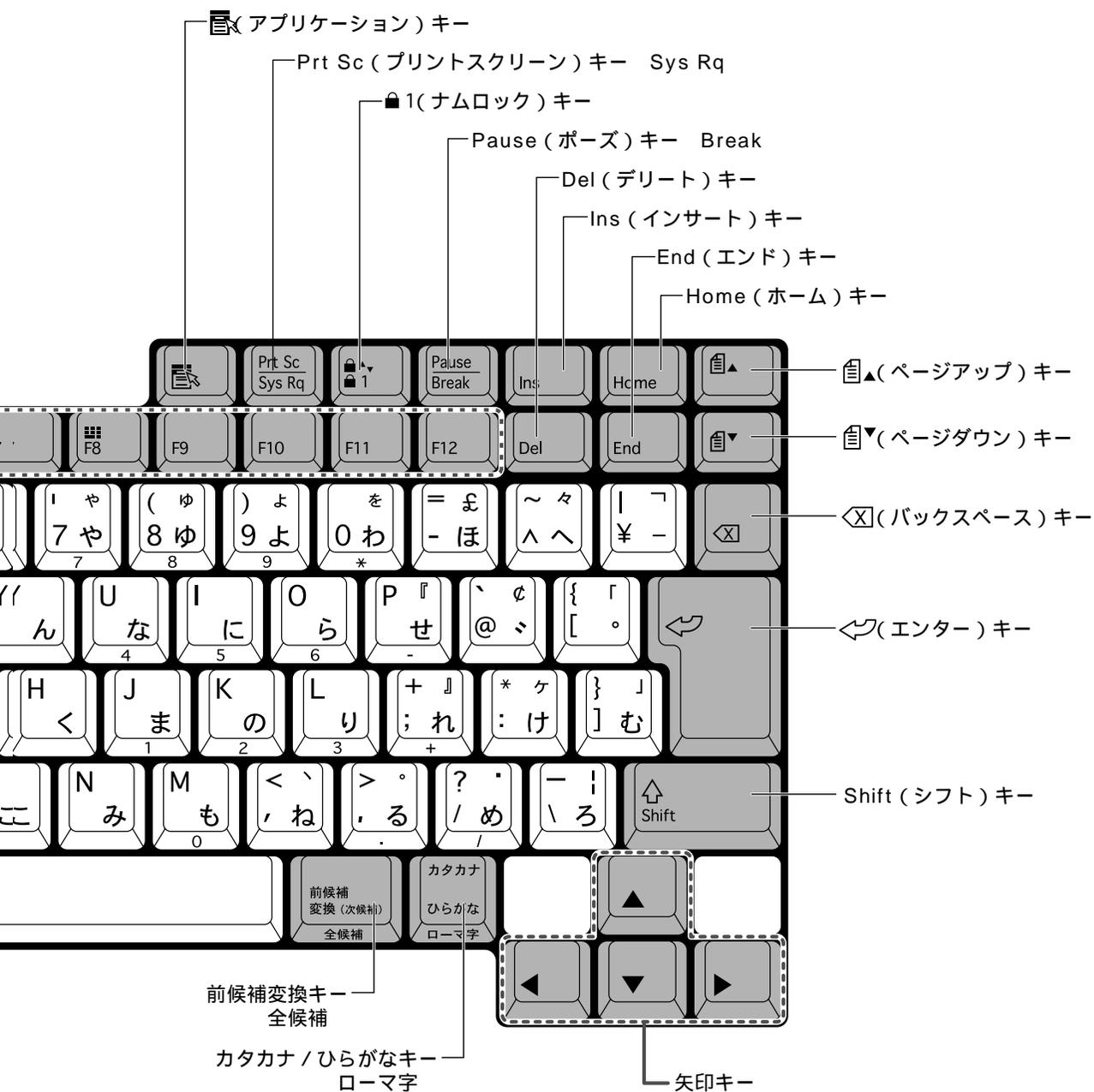
## ● 基本操作

クリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを1回押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ダブルクリック	マウスでマウスポインタを合わせて、ボタンを、すばやく2回続けて押します。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。
ドラッグアンドドロップ	マウスのボタンを押したまま、マウスポインタを移動します（ドラッグ）。特に指定がない場合は左ボタンを使用します。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。

# 7 キーボード

キーボードの使い方はソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。





## ● 主なキーの呼び方と役割

キー	内容
(エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
(シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
(オルト) (コントロール)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
(ウィン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
(スペース)	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
(アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびパソコン本体の右ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
(エフエヌ)	他のキーと組み合わせて特定の操作を実行するときに使います。
(インサート)	文字の入力モードを挿入 / 上書きに切り替えるときに使います。
(デリート)	文字を削除するときなどに使います。
(バックスペース)	文字を削除するときなどに使います。
(矢印)	カーソル移動などに使います。
(エンター)	作業を実行するときなどに使います。
(ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

## ● 入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容	
(Ctrl + 英数)	カナ入力 固定状態	この状態で文字キーを押すと、キートップ右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
(Shift + 英数) ( A )	大文字入力 固定状態	この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナ入力固定や大文字入力固定状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。入力固定状態の優先度は、カナ入力固定状態 > 大文字入力固定状態です。

上の表の機能は、お使いになる日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

## Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
 + 	ディスプレイの輝度を下げます。
 + 	ディスプレイの輝度を上げます。
 + 	表示装置を切り替えます。  +  キーを押すことにより、現在の表示から、次の順で表示が切り替わります。 ↳内部 同時 外部 内部：液晶ディスプレイ 同時：液晶ディスプレイと外部ディスプレイ 外部：外部ディスプレイ
 + 	数字 / カーソルキーのオン / オフが切り替わります。
 +  (  )	画面スクロール入力固定状態になります。 この状態で     キーを押すと、一部のアプリケーションなどで画面スクロールができます。



・外付けキーボードをご使用のときは、 キーの機能は左  + 左  キーで代用できます。

メモ

## Fn キーを使ったショートカットキー

 キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
 + 	[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスを表示します。
 + 	すべてをアイコン化します。
 +  + 	すべてのアイコン化を元に戻します。
 + 	Windows のヘルプを起動します。
 + 	Windows エクスプローラを起動します。
 + 	ファイルまたはフォルダを検索します。
 +  + 	他のコンピュータを検索します。
 + 	タスクバーのボタンを順番に切り替えます。
 + 	[システムのプロパティ] ダイアログボックスを表示します。

## ● 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内 容
システムの再起動	<b>Ctrl</b> + <b>Alt</b> + <b>Del</b>	プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。
画面コピー	<b>PrtSc</b>	現在表示中の画面全体をクリップボードにコピーします。
	<b>Alt</b> + <b>PrtSc</b>	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



お願い

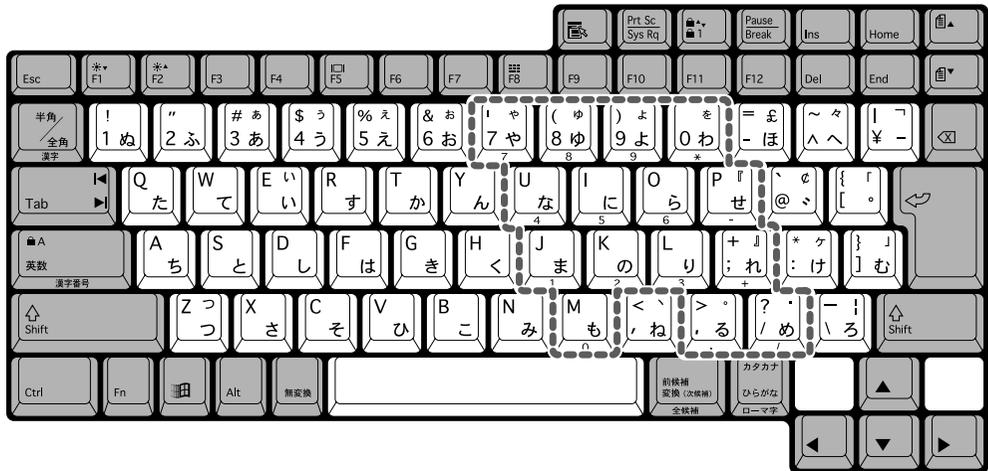
・システムが操作不能になったとき以外は **Ctrl**+**Alt**+**Del** キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

## ● 数字 / カーソルキー入力機能

点線枠で示したキーを数字キーやカーソルキーとして使用できます。同時に 2 つの機能は使用できません。

数字キー入力機能では、キーに青字で印刷されている数字や記号を入力できます。

カーソルキー入力機能はキーに印刷されていません。表をご覧ください。



## 数字キーとカーソルキーの割りあて

キー	数字キー機能  1 	カーソルキー機能  
7	7	Home
8	8	▲
9	9	☰▲ (ページアップ)
0	*	*
U	4	◀
I	5	なし
O	6	▶
P	-	-
J	1	End
K	2	▼
L	3	☰▼ (ページダウン)
+	+	+
M	0	Ins
>	.	Del
?	/	/

## ● 数字 / カーソルキー入力固定状態にする

点線枠で示したキーを常に数字キーやカーソルキーとして使用します。

1  +  キーを押す

  と表示されます。この状態を数字 / カーソルキー入力固定状態と呼びます。

カーソルキー入力機能を使う場合

各キーを押す

数字キー入力機能を使う場合

 1 キーを押し、 1  と表示されたら、各キーを押す  
カーソルキーと数字キーの機能は  1 キーを押すと切り替わります。

## ● 一時的に数字 / カーソルキー入力固定状態にする

点線枠で示したキーを入力固定状態にせず、一時的に数字キーやカーソルキーとして使用します。

カーソルキー入力機能を使う場合

 キーを押しながら各キーを押す

数字キー入力機能を使う場合

 1 キーを押し、 1 と表示されたら、 キーを押しながら各キーを押す

## ● 日本語入力システム

Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME をご使用になれます。

### ● 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システムを起動するには、次の方法があります。



ここをクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する

タスクバーの  をクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する

**[Alt] + [半角/全角]** キーを押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。



### ● 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン  をクリックし、[全般] タブで「ローマ字入力/かな入力」の設定を「かな入力」に変更してください。

ローマ字とかな入力の切り替えは、**[Ctrl] + [英数]** キーでも可能です。

### ● 漢字変換

漢字変換するには、**[Space]** キーを押します。

**[Space]** キーを押すたびに、漢字の候補が表示されますので、目的の漢字が表示されたら  キーを押します。

 MS-IME の使い方  『MS-IME のオンラインヘルプ』



メモ

- ・オンラインヘルプは次の手順で見ることができます。  
ツールバーのヘルプアイコン  をクリックし、メニューから [目次とキーワード] をクリックする
- ・半角の [ ` ] (チルダ) を入力するときは、**[Shift] + [ ` ]** キーを押してください。
- ・キーボードに印刷されている「£」、「φ」、「々」などの文字は、直接入力できません。  
お使いの日本語入力システムの説明書を参照してください。

# 2

## 電源を入れて切るまで

電源を入れてパソコンが、システムを組み込むまでを、  
「パソコンの起動」といいます。

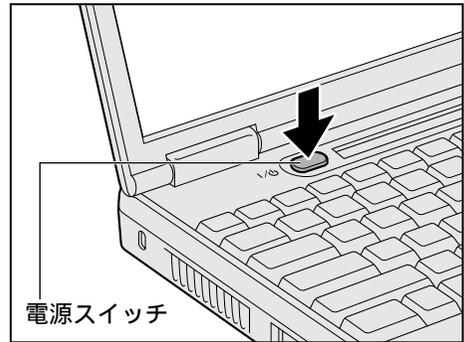
本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

<b>1</b>	電源を入れる .....	52
<b>2</b>	初めて電源を入れるとき .....	54
<b>3</b>	電源を切る .....	62

# 1 電源を入れる

**注意** ・パソコンの電源を長い間入れていると、パソコン本体の表面が熱を帯びます。長い間に渡って、素肌が直接触れないようにしてください。長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。

- 1 フロッピーディスク装置に何もセットされていないことを確認する
- 2 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 3 電源スイッチを 1 秒以上押し、離す  
電源スイッチから指を離すと電源が入ります。  
パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。



スタンバイ機能または休止状態（ハイバネーション）を実行した場合は、電源を切る前の状態が再現されます。

スタンバイまたは休止状態（ハイバネーション）を実行しない場合には、Windows の起動画面が表示されます。



メモ

- ・スタンバイ機能 / 休止状態（ハイバネーション）とは、次に電源スイッチを押したとき、終了した時点から作業が行える機能です。  
スタンバイ機能は、メモリに保持し、休止状態（ハイバネーション）はハードディスクに保持します。
  - ☞ スタンバイ機能 ⇨ 「5 章 7 消費電力を節約する」
  - ☞ 休止状態（ハイバネーション） ⇨ 「本章 3 電源を切る」、「5 章 7 消費電力を節約する」
- ・初めて電源を入れた場合は、[Windows セットアップの確認] の画面が表示されます。表示されるメッセージに従って、Windows のセットアップを行なってください。
  - ☞ セットアップの方法 ⇨ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」

## ● パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Enter Password	[	]
----------------	---	---

設定したパスワードを入力し、キーを押してください。



メモ

・パスワードの入力ミスが 3 回繰り返した場合は、以降の入力ができなくなります。その場合は電源を切って、システムを再起動してください。

 パスワードについて  「6 章 4 Security (セキュリティ) メニューの詳細」

## ② 初めて電源を入れるとき

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows が使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。

1 度 Windows のセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

「Windows セットアップウィザード」に従って次のことを行います。

Windows パスワードの入力

ユーザ名とパスワードを登録します。

ユーザー情報の登録

名前と会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みにになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、同意するを選択しないと、Windows を使用することはできません。

Certificate of Authenticity プロダクトキー入力

『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』表紙の Certificate of Authenticity に印刷されているプロダクトキーを入力します。

日付と時刻の設定

「日付と時刻のプロパティ」画面の [ 日付と時刻 ] タブにて、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することも可能です。



お願い

・「Windows セットアップ」は AC アダプタと電源コードを接続した状態で行なってください。PC カード、プリンタなどの周辺機器は取りはずしてください。

☞ 電源の接続方法について ☞ 「1 章 2-2 電源に接続する」

・「Windows セットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。

・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

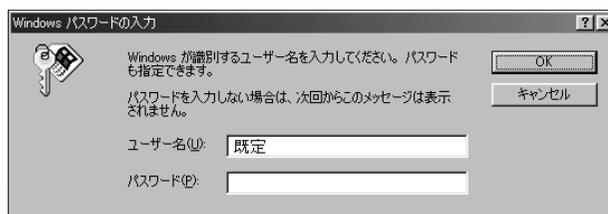
・「Windows セットアップ」を行う前に、30 分以上キーを押さない（タッチパッドやマウスの操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面に表示するには、タッチパッドがマウスを動かしてください。

・リカバリ CD でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

## Windows 98 のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、[ Windows パスワードの入力 ] 画面が表示されます。



## 1 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Del] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。日本語入力システムとは、かなや漢字を入力するためのアプリケーションソフトです。[Alt] キーを押したまま、[半角/全角] キーを押してください。



メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、[X] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[かな] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は[Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[かな] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[かな] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 2 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、[Tab] キーを押します。

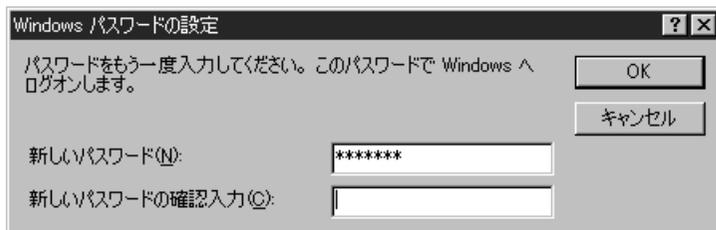
パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4 ~ 8 文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

使用できる文字（すべて半角）		使用できない文字
アルファベット	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z	・全角文字 ・日本語入力システムの起動が必要な文字 例：漢字、カタカナ、ひらがな など ・単独のキーで入力できない文字 例： （パーチカルライン）、&（アンド）、 （チルダ）など ・¥（エン） [Yen] キーや [Yen] キーを押すと ¥ が入力されます。
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
記号 （単独のキーで入力 できる文字の一部）	- ^ @ [ ] ; : , . /（スペース）	

入力したパスワードは「\*\*\*\*」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、[X] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[ Windows パスワードの設定 ] 画面が表示されます。



### 3 登録したパスワードをもう一度入力し、[ OK ] ボタンをクリックする [ ようこそ ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[ OK ] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Del]キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す  
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 [Del]キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab] キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

### 4 [Esc]キーを押す

日本語入力システムのチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は[M]キーを押してください。

入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[ Windows 98 へようこそ ] 画面が表示されます。



## 5 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、**[Tab]**キーを押します。

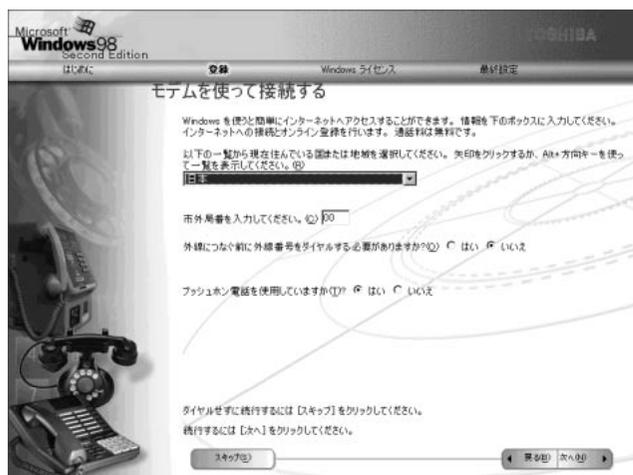
ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。**[Alt]**キーを押したまま、**[半角/全角]**キーを押してください。

## 6 [次へ] ボタンをクリックする

[モデムを使って接続する]画面が表示されます。

ここではインターネット(モデム)への接続は行いません。

インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ終了後に行えます。



## 7 [スキップ] ボタンをクリックする

[ダイヤルのキャンセル]画面が表示されます。





## 10 プロダクトキーを入力する

プロダクトキーは、パソコン本体または『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』表紙の Certificate of Authenticity に印刷されています。

[キーボードヘルパーを使う]をチェック(左側の  をクリック)すると、入力に必要なアルファベットや数字が表示されます。文字をクリックして入力します。

【例】

XXXXXX - XXXXXX - XXXXXX - XXXXXX - XXXXXX

入力を間違えた場合は、 キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- ・プロダクトキーは、1度入力して確定すると変更することはできませんので、正確に入力してください。
- ・『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』は、大切に保管してください。  
紛失すると Windows のセットアップはできなくなります。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

## 11 [次へ] ボタンをクリックする

[セットアップの完了]画面が表示されます。



## 12 [完了] ボタンをクリックする

[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。



## 13 [日付] と [時刻] が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

## 14 [タイムゾーン] で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

## 15 [閉じる] ボタンをクリックする

[日付] [時刻] [タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。Windows のセットアップが終了します。

Windows のデスクトップ画面が表示されます。

## ● Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

## ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。いずれもインターネットで登録する場合は、モジュラーケーブルの接続が必要です。

☞ モジュラーケーブルの接続 ☞ 「4章 6 電話回線への接続」

### 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

#### 初めて、インターネットをご利用になる場合

[スタート]-[プログラム]-[東芝 PC お客様登録]-[東芝 PC お客様登録]をクリックし、[東芝 PC お客様登録]画面で表示される画面に従って設定を行なってください。この場合、インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

#### すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行なってください。

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

### Microsoft 社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

#### インターネットで登録する場合

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[Windows へようこそ]で[今すぐ登録]をクリックする

# 3 電源を切る

パソコン本体の電源を切るには、Windows を終了する方法（シャットダウン）と休止状態（ハイバネーション）を実行する方法があります。

休止状態（ハイバネーション）を実行すると、次に電源スイッチを押したときに、電源を切ったときの状態からパソコン本体を使い始めることができます。

☞ 休止状態（ハイバネーション）☞ 「5章 7 消費電力を節約する」



- 注意**
- ・ CD/ハードディスクマーク  やフロッピーディスクマーク  表示中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置の取り出しボタンや CD-ROM 装置 / CD-RW 装置の取り出しボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、フロッピーディスク装置、CD-ROM 装置 / CD-RW 装置が壊れるおそれがあります。
  - ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。



お願い

- ・ 周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- ・ 休止状態（ハイバネーション）が実行されている間は、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、CD/ハードディスクマーク  が表示されます。マーク表示中は、バッテリーパックをはずしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。
- ・ 休止状態（ハイバネーション）を実行しない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

## 方法 1 - [スタート]メニューから Windows を終了する

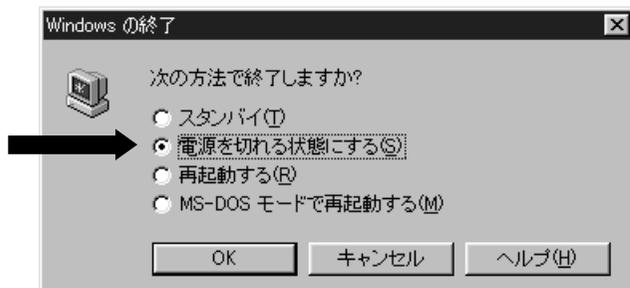
1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 [スタート] - [Windows の終了 (U)] を選択する



(表示例)

- 3 [電源を切れる状態にする(S)]がチェックされていることを確認し、  
[OK] ボタンをクリックする



メモ

・この方法で電源を切ると休止状態（ハイバネーション）は実行されません。

## ● 方法 2 - 電源スイッチを押す

- 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する  
ご購入時は「シャットダウン」に設定されています。  
休止状態（ハイバネーション）に変更する場合は次のように設定してください。  
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする  
[電源の管理]をダブルクリックする  
[休止状態]タブの[休止状態をサポートする]がチェックされていることを確認する  
[詳細]タブの[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で[休止状態]を選択する  
[OK] ボタンをクリックする

### 2 電源スイッチを押す

## ● 方法 3 - ディスプレイを閉じる

- 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する  
ご購入時は「なし」（通常の状態のまま）に設定されています。  
シャットダウンや休止状態（ハイバネーション）に変更する場合は次のように設定してください。  
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする  
[電源の管理]をダブルクリックする  
休止状態にする場合は、[休止状態]タブの[休止状態をサポートする]がチェックされていることを確認する  
[詳細]タブの[ポータブルコンピュータを閉じたとき]で[シャットダウン]または  
[休止状態]を選択する  
[OK] ボタンをクリックする

### 2 ディスプレイを閉じる